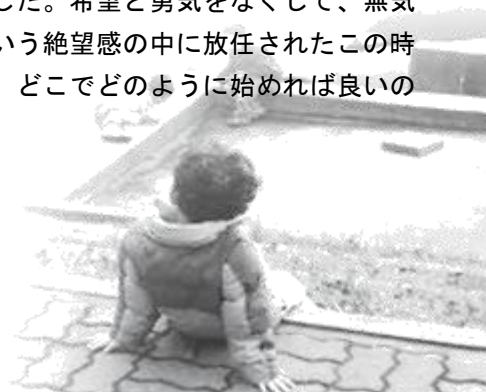


幸せな
贈り物

カッコウ子ども、家出ファミリー、 今日の子ども問題 どのように考えますか？ トイレに暮らす三兄弟姉妹

青少年問題は、**親の問題、未来の問題**です。4月30日に、あるテレビ放送の時事教養プログラムで、妄想に捕われたまま三人の子どもと一緒に公園のトイレで野宿しているひとりの父親の話を公開しました。三人の兄弟姉妹は、ソウルのある公園のトイレで食べて寝て遊んでいました。明け方3時が過ぎても寝ないでライターとトイレットペーパーを持って遊び、便器を食卓にして、カップラーメンを食べながら、深夜の食堂で無料のコーヒーをもらって飲みながら夜を明かします。夜が明ければ、父親と地下鉄に乗って寝ながら、チョンアンに行って大型マートの試食コーナーで食事を解決して、父親は旅行会社で高価な外国旅行を予約、不動産では10億ウォン（約7500万円）に近い高級アパートを契約する奇怪な姿を見せました。父親のこのような行動は、直接の虐待とは違った、子どもたちを学校に行かせないで、トイレで生活するようにさせ、出生届も出さず、透明人間にする明白な放任でした。取材した結果、子どもたちの父親は事業に失敗して、2005年から銀行から数十億ウォン（数千万円）のお金が出てくると言って、6年の歳月を妄想の中で生きてきたのが、こういう結果を招いたと発表されて、より残念な思いにさせられます。一方、未婚の母の出産と離婚、貧困による家庭崩壊が増加して、親と子どもが離れて暮らす「カッコウ子ども」がますます増えています。韓国の保健福祉部の〈要保護児童（危機状況に置かれて緊急な保護が必要な児童）現況および発生原因〉によれば、昨年1～6月に発生した8,590人の要保護児童中の約3分の1人の2,804人が未婚の母の子どもで、最も比率が高かったです。祖父母、親戚、委

託養育を望む家庭に子どもを任せる家庭委託の場合、委託理由の中で親の離婚と家出が約57%を占めました。カッコウ家族の親の大部分が、低所得層・低学歴であり、家庭生活に困難を経験して子どもを捨てたり、他人の手に任せたのです。また、韓国内で家出する青少年の統計が20万人と推測される中で、去年でだけ警察に申告された家出した青少年が2万人で、最近5年間で、2倍以上に増加しました。昨年の統計によれば、小・中・高10人の中1人の割合で家を出ていて、4人は家出衝動を感じる事が明らかになりました。韓国の女性家族部の調査によれば家出の最も大きい原因は家庭環境で、親との葛藤（19.4%）、親同士の葛藤（9.6%）、親の身体的虐待（3.9%）など、家庭問題で家出衝動を感じると答えた学生が3分の1以上を占めました。ところで、このような家出は青少年に、また他の問題をもたらしています。家出した青少年が3～5人ずつ群がって生活する「家出ファミ」（家出+ファミリー）を通して青少年の半分以上が男女が一緒にくらすことを経験して、性的暴行と売春、窃盗などの脱線で現れるようになっていると明らかにしました。このような青少年問題は、全世界的な問題で、UNでも未来問題は青少年問題であることを認めました。希望と勇気をなくして、無気力と自暴自棄という絶望感の中に放任されたこの時代の青少年たち、どこでどのように始めれば良いのでしょうか。



なくした子どもの祝福を探して

ユダヤ人のことわざの中で「子どもたちは親の運命の半運命」ということばがあります。これは、親の祝福とのろいの半分は、子どもに影響を与えるということばです。それで、霊的な祝福を受けた親1人がどれくらい重要なのかを分かなければなりません。親の祝福とのろいが子どもに伝えられるという事実を記憶しなければなりません。

それなら、親が先にどんな祝福を味わって、子どもに何を伝えなければならないのでしょうか。まず、人間が創造された創造の原理を回復しなければなりません。魚が水の中で生きて、木が根を土地におろして生きていくのが当然の原理のように、人間は神様とともにいてこそ幸せな霊的な存在として創造されたと言われています。こういう霊的な存在である人間が神様を離れてからすべての問題が始まって、罪とのろい、災いと苦しみが来るようになりました。それなら、のろいと災いをもたらした根本的な問題から解放されなければなりません。その根本原因をもたらした存在を聖書はサタン、あるいは、悪魔、悪霊と言います。サタンは人間が神様に不信仰するようにさせて、神様を知らなくさせ、苦しめて滅ぼします。しかし、一気に解決できる道があります。神様は、イエス・キリストをこの世に送って、人間が解決できない根本的な問題を解決して、救いの道を開いてくださいました。この世に来られたイエス・キリストは、人間の代わりに十字架で死んで復活されることによって、人間の罪と運命、のろいと災いの問題をすべて解決してくださいました。(マルコの福音書 10:45、ローマ人への手紙 8:2) 信じる者ごとに永遠にともにいる神様の子どもになる道を開いてくださいました。(ヨハネの福音書 1:12、14:6) 真の王として来られて、サタンの権威を打ちくだいて、その手から解放される道になってくださいました。(ヨハネの手紙第一 3:8、ヘブル人への手紙 2:14~15) 聖書はその「キリスト」がまさしく「イエス」だと語っています。人間が絶対に解決できない根本問題をイエス・キリストが完全に解決されたということです。したがって、だれでもイエス・キリストを信じて受け入れて、神様の子どもになる瞬間、人生のすべての苦しみから解放されて、まことの家庭とまことの幸せの生活を生きていくようになります。神様は聖霊で、あなたの中におられ、あなたのすべての生活を治めて、導いてくださいます。神様が救われたあなたの生活を完ぺきに責任を負ってくださいます。神様の子どもは、イエス・キリストの御名で何でも神様に祈ることができて、神様は必ずご自分のみこころどおりに答えてくださいます。イエス・キリストの御名の権威で、サタンのすべての勢力を打ち砕くことができます。問題のゆえに、たくさん大変なことが起こるとき、イエス・キリストの御名で祈ってみてください。あなたを無気力にさせるサタンの勢力は打ち砕かれるでしょう。今からあなたは天国の御座の祝福である天の軍勢、御使いの助けを受けながら必ず勝利するようになっていきます。そして、永遠ないのちを得た天国の民として、そのすべての祝福を味わうことができます。死んで天国に行くことは当然で、この世に生きながらも、行く所ごとに神の国の祝福を味わうようになります。ひょっとして、失敗して罪を犯すとしても、罪を告白して悔い改めれば許してくださいます。私自身と家庭、家系の災いとのろいはもう終わったのです。あなたは、イエス・キリストの御名で世界を征服して治められる権威を受けるようになります。これがまさに救われた者にくださる神様の祝福で、私たちの子どもに譲るまことの遺産ではないでしょうか。幸せな親が幸せな子どもを作り出す方です。「あなたは祝福を譲る大切な人です」

幸せな家庭とは？

私たちが携帯電話やコンピュータを買うと、必ず取り扱い説明書があるのに、高機能製品であるほど使用説明書が大きくて厚いです。そして、製品を使う前に必ず読んでくださいと推奨しています。創造主なる神様も、ご自分のかたちとして創造された人は動物と違うから、生きていくのに必要な取り扱い説明書をくださったのですが、それが聖書です。それで、聖書を見れば、私たちの人間がどんな存在であり、どのように生きなければならないのか、そして、創造主の神様が私たち人間を造られた目的が詳しく記録されています。したがって、幸せな人生、幸せな家庭生活をしようとするなら、神様のみことばを詳しく見なければなりません。

最初に、家庭は神様がくださった贈り物です。神様はアダムがひとりであるのを良いとは思われませんでした。それで、神様はアダムのために彼のあばら骨一つを取り出して女をお造りになりました。そして、アダムに連れて来られたのです。アダムはエバを見て、「これこそ、今や、私の骨からの骨、私の肉からの肉」（創世記 2:23）と告白しました。そうです。妻は夫の骨からの骨、肉からの肉です。ところで、ある人は自分の妻を見て「これは私の失敗の中の失敗で、敵の中の敵だ」と言う人もいます。どれくらいみじめな話でしょうか。夫と妻は人格で互いに尊重して対話できる関係です。こういう関係ではない夫婦と家庭は、すでに危機がきたのです。このように危機を迎えた家庭が回復して、幸せな家庭になろうとすれば、夫と妻は親を離れなければならないかもしれません。これは空間的な離別を話すものではありません。親から霊的、精神的、経済的、身体的な独立を意味する言葉です。そして、夫と妻は互いに連合しなければなりません。ひとつのからだを成し遂げて「私」と「あなた」ではない「私たち」という新しい共同体を成し遂げなければなりません。

二つ目、家庭は創造主なる神様の最高の傑作です。神様は家庭をお造りになったあと、安息されました。家庭で生きていくアダムは、神様の最高の喜びでした。人間は神様のかたちとして造られた存在で、神様と交わることができる霊的な存在です。彼らに神様がくださった家庭は喜びと楽しみがあふれる所です。すべてのものがあるのまま容認される所で、心の健康を維持できて、あらゆることを下ろせる所であるためです。

三つ目、神様は家庭を祝福してくださいました。神様は、家庭で生んで、増えて、地を満たして、地を征服して、地の上のすべての生き物を治めなさいとおっしゃいました。（創世記 1:28）生むとはいのちを産むことで、増えるのはいのちが増えることで、満たすとは地球全体を満たすことです。このように、大切な家庭が、いま危機を迎えています。だれがどのように危機を迎えている家庭を救うことができるのでしょうか。人々が創造主なる神様に会う道以外には、他の方法がありません。私たちを創造して、家庭を与えてくださった神様に会う道だけが、危機を迎えたあなたの大切な家庭を回復する唯一の道です。

「主イエスを信じなさい。そうすれば、
あなたもあなたの家族も救われます」

使徒の働き 16:31

神様の子どもになる 受け入れの祈り

愛の父なる神様。

私は罪人です。今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。

しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス・キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してください。キリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。

イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの毎日の祈り

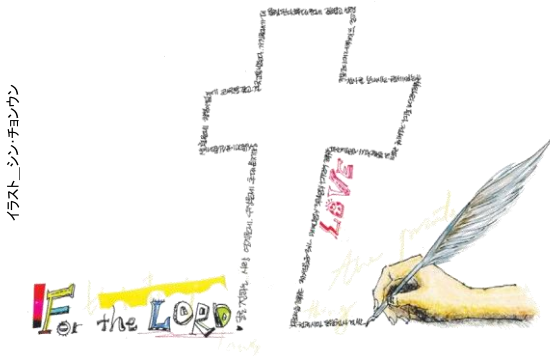
父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。

私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。

どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。

そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。

今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



文字で伝える 愛

私たちが生きている世界は、地域ごとに言葉が違って、文字が違う。時間が流れながら、世界の言語が死滅すると言われているが、それでもまだ中心になる言語が多くて、世界の人と通じなければならない学生たちが勉強の負担を感じる。言葉と文字は、意思の表現なので、心がこもった思いが人を愛で包む。親と子どもとの間に、そして若者たちが分かちあう愛も価値あるが、悟った福音を感謝して隣の人に伝えようと思う愛の心を私たちは伝道と言う。話が通じる人々には、このようにあのように話して案内すれば良いが、遠くにいる人々にも深い表現をしようとするなら、文字を通して伝えることができる。日本人や中国人に会えば、言葉がたとえ通じなくても、漢字文化圏であるから、筆談で意思を表現することができる。いのちの福音なので、伝えることができ信じれば生かされるので、何度か彼らに会って心の思いを伝えようと、簡単にその人々が好きな文字形態である7つの漢字でできた言葉を作って伝えたとこ簡単に理解してもらえた。信仰を持つことも出来ない人を未信者というのだが、その人々はだいたい六つの苦しみを受けることが聖書に出ていて、実際の生活の中で確認できる。

未信者六状態苦 (未信者の六つの状態の苦しみ)

- 霊的問題原罪苦 - 神様を離れた問題で、原罪の苦しみを味わう。
- 偶像問題災難苦 - 偶像に従う問題で、災いの苦しみを避けられない。
- 精神問題心鬼苦 - 根本問題を持っているので、精神的な苦痛を受けて苦しむ。
- 肉身問題病気苦 - 迫ってくる肉体の慢性病、難病で苦しみを受ける。
- 生活問題地獄苦 - 幸せがないので、快樂を追って、結局、苦しみを受ける。
- 後代問題家系苦 - 親が持っている問題が相続されて苦しみが相続される。

こういう苦しみから自由になりなさいと福音をくださったので、イエスをキリストと信じれば、信徒の祝福を代表的に七つ味わうようになる。

信徒七大祝福 (信徒の七つの祝福)

- 身分 子 聖霊内住 - 聖霊で神様の子どもになった祝福を味わう。
- 身分 行 聖霊引導 - 聖霊が生活を最も祝福されるように導かれるので自由である。
- 身分 力 聖霊充滿 - 聖霊が祈りに答えてくださる祝福を知るようになる。
- 權威 保 動員天使 - 助ける天使を送ってもらえる權威がある祝福を持っている。
- 權威 力 結縛悪魔 - 邪魔するサタンは權威ある祈りで縛ることができる祝福がある。
- 權威 国 天国国籍 - この世で權威ある神の国の祝福を味わう。
- 權威 福 世界征服 - 權威ある福音を通した祝福で見えるようになる。

福音によって受ける祝福は何万種類も越えるが、簡単に整理した。出会いを通して文字で伝えることだが、足りない部分があるかもしれないが、それでも心の中心に含まれた福音を伝える表現であるから、もしかして漢字文化圏に属している方がおられるなら、文字で伝える愛を喜びで分かち合いたい。

チョン・ヒョングク (福音コラムニスト)

* 相談したい方はこちらまでどうぞ